



Kasukabe municipal nursing school

School Guide

創立50周年記念号



春日部市立看護専門学校

教育理念



学校長
有馬 健

- 本校は、埼玉県東部地域における保健・医療・福祉に寄与する看護実践者を育成することを目指す。
- 看護を学ぶものとして、豊かな人間性と倫理観を養い、生命を尊重し、看護の対象である人間を総合的に理解でき、その人の健康に対する考えを尊重するとともに、より健康な生活をおくるための看護実践に必要な知識・技術・態度が修得できるよう支援する。
- また本校は、主体的に学習する環境を整え、相互に関係し合い、学生の資質の向上を支援し、変動する社会のニーズに対応できる看護実践者を育成する。

熱意あふれる外部講師

約70名の外部講師があなたを夢に導きます！



蜂矢隆彦先生
総合医療論・病態論Ⅳ担当

患者さんを手術で救う喜びを知っていたきたいと思います。当院の手術室では最新のロボット手術が日々行われています。



飯島博之先生
英会話・看護臨床英語担当

医療現場で求められる英語表現や医学用語の学習が中心です。医学用語を見て「なるほど…」と思えるようになります。



阪本陽子先生
教育学担当

看護における教育的働きかけについて一緒に考えていきましょう。



浮谷秀一先生
心理学担当

「となりの芝生は青い」ということわざがあります。このことわざから学ぶことは、「ないもの」ではなく「あるもの」に注目する、「できないこと」ではなく「できること」に注目するということです。自分のことを知り、活かすことを心がけましょう。



辰口千枝子先生
精神看護学方法論Ⅱ担当

授業、実習を通して、人間とこの仕事の奥深さを感じ取ってほしいと思っています。

個性豊かな看護教職員



看護師になるという
“あなたの夢”
私たちが叶えます!!

本校の教育理念でもありますように、地域・社会に貢献できる看護実践者を育成していくため、教職員一同、学生の皆さんの学習をサポートいたします。一緒に看護を学びましょう。

副学校長 高橋 和恵

カリキュラム

- 1. 基礎分野** 生活科学、情報科学入門、情報科学の実際、論理学、倫理学入門、生命倫理、心理学、教育学、社会学、人間関係論、カウンセリング理論、英会話、看護臨床英語、運動とコミュニケーション※、郷土体験学習※（※は選択）
- 2. 専門基礎分野** 解剖生理学、生化学、病理学、病態論、治療論、総合医療論、総合医療論演習、公衆衛生、関係法規、社会福祉
- 3. 専門分野** 基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践、臨地実習（各領域別）

定員・授業時間

- 入学定員 30人
- 修業年限 3年間
- 授業時間 講義：午前8時50分～午後4時10分
実習：午前8時00分～午後4時30分
- 休業日 毎週土・日曜日、祝休日
季節休業日（春季3週間・夏季5週間・冬季2週間）



学 費

- 入学金 7万円
- 授業料 月額1万4千円
- その他 3年間で約55万円（教科書・参考書・実習用教材費・白衣リース代・シューズ・血圧計・聴診器・国家試験模擬試験料など）

奨学金

春日部市立医療センター医療技術者奨学金

- 対象者 将来、春日部市立医療センターで医療業務に従事しようとする者
- 貸与額 月額3万円 ●利子 無利子
（卒業してから引き続き春日部市立医療センターに一定期間勤務した場合、奨学金の返還を免除）

資格・進路


就職率
100%
(就職希望者)

- 卒業後の資格
看護師国家試験受験資格
保健師・助産師学校入学受験資格
専門士の称号
- 卒業後の進路
毎年約7割の卒業生が
春日部市立医療センターへ
就職しています。

看護師国家試験合格率の推移



本校の3つのポリシー

アドミッションポリシー

本校が求める学生像

1. 看護師になりたいという自らの強い意志がある人
2. 人に対して関心と思いやりのある人
3. 人の話をよく聞き、自分の考えを表現できる人
4. 目的に向かって自ら学び、努力する人
5. 物事に興味をもって関わり、その経験を活かすことができる人

ディプロマポリシー

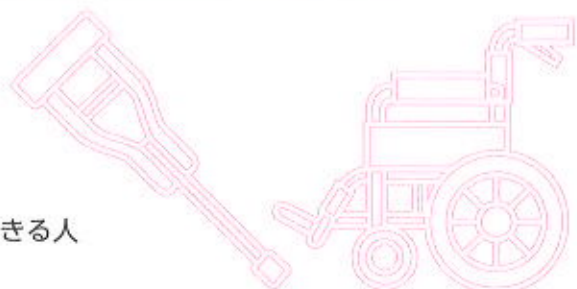
本校が期待する卒業生像

1. 人間を理解し、個人・家族・地域を広い視野で総合的に支援する力を身につけている
2. 看護実践に必要な臨床判断力を身につけている
3. 保健医療福祉チームの一員として多職種と協働でき、社会人としてあらゆる場面で適切な行動がとれる力を身につけている
4. 主体的に学習を継続することで看護の本質を追求する力を身につけている
5. 豊かな人間性と倫理観を養い、社会のニーズに合わせた看護を実践する力を身につけている

カリキュラムポリシー

本校の教育方針

1. 看護実践者としての豊かな人間性と倫理観、看護の基礎的知識を養い、各看護領域で必要な臨床判断力の育成や看護の対象である個人・家族・地域に貢献できるための知識・技術・態度を養えるよう支援します
2. 地域に親しみを持ち、健康を支援する力を養うためにボランティア活動や郷土体験学習等を取り入れ、地域に貢献できる人材を育成できるよう支援します
3. 看護技術の習得のために探求型学習を多く取り入れ、対象に合わせた看護が実践できるよう支援します。また、学習成果の評価は単位認定試験・レポート等、教育目標の達成度で総合的に行います
4. 看護の専門的な知識を統合し、あらゆる対象に対して援助が提供できるよう実習環境を整え、看護の本質を共に追求することで看護実践者として成長していけるよう支援します
5. 他者と協働する力を養い、主体性を育むことで看護職として求められる社会人基礎力を段階的に身につけられるよう支援します





春日部市立看護専門学校 創立50周年を迎えて



本学の沿革

昭和49年 4月 1日	春日部市立病院附属高等看護学院（2年課程）開校 1学年定員20名、総定員40名
平成14年 3月25日	旧南埼玉郡市医師会立春日部准看護婦学校に移転
平成14年 4月 1日	春日部市立病院附属高等看護学院（3年課程）課程変更準備室開設
平成15年 7月10日	看護師養成所の学則の変更承認申請書を厚生労働大臣に提出
平成15年 9月12日	看護師養成所の変更に関する調査実施
平成15年12月26日	看護師養成所指定承認（厚生労働省） 1学年定員30名、総定員90名
平成16年 2月20日	校舎増改築部分完成
平成16年 3月31日	2年課程閉校
平成16年 4月 1日	3年課程開校（課程変更）
平成17年 2月28日	春日部市立看護専門学校の許可
平成17年 3月28日	春日部市立病院附属高等看護学院の廃止許可
平成17年 4月 1日	春日部市立看護専門学校設置 （各種学校から専修学校に）
平成17年12月26日	専門士付与の申請認可（官報掲載）
平成21年 4月 1日	1学年定員40名、総定員120名に変更
平成26年 4月 1日	授業料改定
令和 2年 4月 1日	1学年定員30名、総定員90名に変更



学校長(令和5年度)

山本 樹生

本校は昭和49年開校以来、創立50周年を迎えます。このため、これを記念して50周年記念号を作成しました。

この間、埼玉県東部地域における保健・医療・福祉に寄与する看護実践者を育成してきました。最近是国家試験の合格率は100%とよい成績をおさめ、春日部市立医療センターにも多くの看護師を輩出してきました。春日部市立医療センターでは新病院の看護に携わり、最近では新型コロナウイルス感染患者の受け入れ拠点として献身的な看護も行い地域に貢献しました。

本校は主体的に学習する環境を整え、相互に関係し合い、学生の資質の向上を支援し、変動する社会のニーズに対応できる看護実践者を育成してきました。今後さらなる発展が期待されます。



春日部市立医療センター
看護部長(令和5年度)

辻本とし子

創立50周年を記念し、心からお祝いを申し上げます

開学から半世紀にわたり多くの人材を輩出し、当院でも卒業生がいきいきと活躍をしています。時代の変化とともに、看護師の果たすべき役割が、益々重要になってきました。

思えば38年前の在学中に校歌ができ、新鮮な思いで歌ったことを記憶します。詩の一節に「傷つき病める人のためわれらは励む愛のきびしさ」とあります。時は流れても、この詩に託された厳しさゆえの使命の大きさは、今でも変わることはありません。

この学校には、先輩から後輩へと継承しゆく絆があります。その中で優しさと強さを鍛え上げながら、看護師としての根っ子を更に大きく育て、社会へつなげゆくことを今後も期待します。



実習施設
医療法人社団 嬉泉会 春日部嬉泉病院
看護部長

栢原 恵美

春日部市立看護専門学校創立50周年を迎えられ心よりお祝い申し上げます。

当院は腎臓に特化した病院ですが、2016年から実習を受け入れており、これまでに5名の卒業生が就職し現在も活躍しております。卒業生の中には、自身のスキルアップのため当院を離れる方や、実習指導者として後輩育成に関わりたいと資格取得を目指す方などもおりそれぞれの目標実現のために、病院としてもできる限り応援しようとしています。学生に対しても奨学金制度を設けており、看護師資格取得のため微力ながらお役に立てればと考えています。

春日部市の医療を支える優秀な看護師を輩出されてきた御校ご関係者の皆様に敬意を表すと共に、今後の益々の発展をお祈り申し上げます。



春日部市病院事業管理者

三宅 洋

春日部市立看護専門学校の前身である春日部市立病院附属高等看護学院が開設されたのは、昭和49年4月のことでした。当時は定員20名で修業年限は2年でした。

平成16年4月には定員が1学年30名、修業年限が3年となり、平成17年4月に春日部市立看護専門学校に名称変更されて現在に至っています。

卒業後の進路は、約7割が春日部市立医療センターに就職し、約3割が県内の医療機関に就職しております。50年の歴史がある春日部市立看護専門学校で看護師への道を目指しましょう。



春日部市立看護専門学校同窓会
会長

田口 陽子

学校創立50周年おめでとうございます。春日部市立病院附属高等看護学院(2年課程)同窓会が発足したのは、開校から10年後の昭和59年、同窓会も40周年を迎えました。発会式では校歌がお披露目され、当時の副院長で在られた加部先生が思いを込めて校章をデザインしてくださったそうです。

以降、会則に基づき2年毎、3年課程になり3年毎の6月に総会・懇親会を開催し会員相互の親睦や情報交換、母校の発展に寄与することを目的に活動しております。卒業生は1100人を超え、全国で幅広く活躍されております。

本校卒業と同時に私たちは仲間となり、共に同窓会活動にご参加いただけます。

春日部市立看護専門学校の益々の発展とご健勝を心から祈念いたします。



実習施設
医療法人 敬愛会 リハビリテーション天草病院
看護部長

荒井 さき子

この度は、創立50周年を迎えられましたこと心よりお祝いとお慶びを申し上げます。今日まで御校に携わられたすべての方々のたゆまぬ努力とご尽力の賜物と存じます。これまでいくつかの困難があったかと推察いたしますが、ご卒業された皆様は地域医療看護を支える大きな力になっております。先輩の方々にも当院で大変御活躍いただいております。

5年ほど前に臨地実習のお話もいただき、とてもありがたい機会をいただけたこと本当に感謝の思いです。実習毎に看護師も一緒に成長しております。今までに築かれてきた伝統と、新しい時代を生かしながら、御校の益々の飛躍を遂げられんことを祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

学校のあゆみ



昭和49年 春日部市立病院附属高等看護学院開設



春日部市立看護専門学校



昭和60年 市立病院増改築完成図
(左側：市立病院附属高等看護学院)



昭和62年 増改築で一新した市立病院



平成14年
現在の地に移転しました

春日部市立看護専門学校校歌

作詞/森 又三
作曲/日向雅男

- 1、みどりゆたかな春日野に
人のいのちの尊さを
いたわりあいて幾月日
制帽白衣身につけて
われらは学ぶ愛のともしび
春日部高看 君知るや
- 2、文化にかおる春日部に
生きとし生けるしあわせを
恵みの神に祈りつつ
傷つき病める人のため
われらは励む愛のきびしさ
春日部高看 君みずや
- 3、歴史ゆかしき春日部に
人みな和するよろこびを
学びの庭に肩くみて
倒れし人を救わんと
われらは望む愛のはばたき
春日部高看 ゆるぎなし

仲間と過ごす時間

4月

- 入学式
- 新入生歓迎会
- 防災訓練
- スポーツ大会

4月 入学式



4月 スポーツ大会



5月

- 新入生教育キャンプ
- 大鳳マラソンボランティア

5月 新入生教育キャンプ



6月

- 宣誓式

6月 宣誓式



7月

- 交通安全講習
- 体験型学校説明会

8月

- 夏季休業
- 体験型学校説明会

11月 双葉祭



9月

- 看護研究発表会

10月

- 解剖見学

11月

- 双葉祭(学校祭)



12月

- 冬季休業

1月

2月

- 看護師国家試験
- 3年生を送る会

3月

- 卒業式
- 看護師国家試験合格発表
- 春季休業

7月・8月 学校見学・看護体験



実習や演習を通して
様々なことが
学べます♪

3月 卒業式

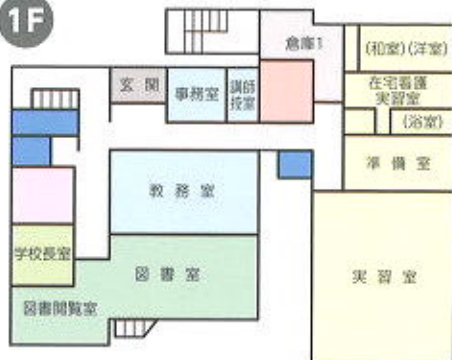


充実した学習環境

校内案内図

明るい校内と充実した学習設備。
あなたの『学びたい』をバックアップします。

1F



在宅看護実習室



実習室



図書室

2F



保健室

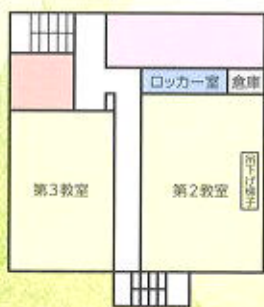


情報科学室



講堂

3F



第2教室



男子ロッカー室



実習施設

実習のほとんどが春日部市内の施設で行えます。
アクセスの良さは、あなたの学習を効果的にします。



春日部市立医療センター



春日部市総合福祉センター「あしすと」
(地域・在宅看護論実習)



春日部第1児童センター「エンゼルドーム」
(小児看護学演習)



市内公立保育園
(小児看護学実習)

先輩からのエール

18期生

片岡 恵未さん

卒業後の進路
春日部市立医療センター

3年間を通して課題、テスト、実習、国試など大変なことも多いですが、先生方は優しく何でも相談にのってくれます。また、辛い時は友達と支え合い、ここまでくることができました。専門学校では看護の楽しさを学ぶことができます。皆さんもぜひ素敵な看護師を目指して頑張ってください。



18期生

鈴木 里奈さん

卒業後の進路
春日部市立医療センター

3年間の学校生活は、充実感ばかりではありませんでした。しかし、この学校で出会った同期と先生方の支えがあり、人としても成長しながら乗り越えることができました。学校で身につけたことを糧に皆さんが素敵な看護師になれるよう応援しています。



19期生

高橋 菜々子さん

この学校の一番の魅力は、少人数であるため教職員からの手厚いサポートが受けられることです。看護の授業や実習など初めてのことばかりでも、勉強したいという気持ちさえあれば大丈夫です。充実した生活が待っています！



19期生

谷澤 桃香さん

実習では、学内で学びきれない多くのより専門的な看護の知識や援助を学ぶことができます。大変なこともあります。先生方や実習先の指導者様、仲間たちに支えられて乗り越えることができます。ぜひ一緒に看護師という夢の実現に向けて頑張りましょう。



20期生

西野 乙葉さん

看護過程などは慣れないうちは難しいですが、わからないところは、昼休みや放課後に先生方が丁寧に教えてくださるので、学習への理解が深まります。また、同じ夢を持つ仲間と学ぶことで困難も乗り越えることができます。ぜひ一緒に看護師を目指して頑張りましょう。



20期生

藤脇 美海さん

講義や演習では、仲間と意見交換をする機会が多く、理解や考えを深められます。多重課題となり、悩みやストレスを抱えることもあります。しかし、仲間や先生方が支えと励ましになり頑張ることができます。ぜひ、本校と一緒に看護師を目指しましょう。



21期生

田中 葵さん

入試の筆記試験に向けて、過去問を繰り返し解いたり、各教科の基礎を固めたりして対策をしました。小論文や面接については何度も練習をして臨みました。本校と一緒に看護師を目指しましょう。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



21期生

福田 一樹さん

私は社会人を経て一般入試で入学しました。入学前はクラスになじめるか不安でしたが、クラスメイトとの距離感を感じることなく過ごしています。試験に関しては、過去問を中心に勉強すると本番でも問題を解けると思います。一緒に看護師を目指しましょう。



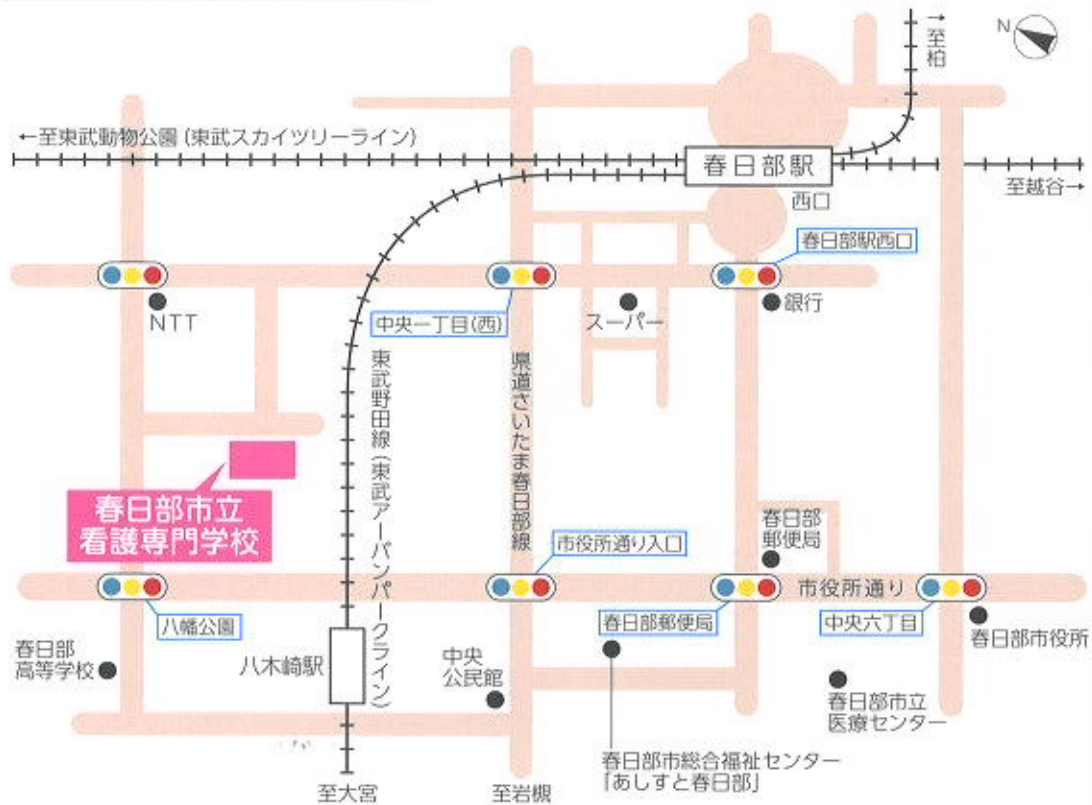
校章の由来



連なる2つの輪は当地の殿様春日部公の家紋をデフォルメしたものです。2つの山は高度な看護知識と病める人々への愛を象徴しました。また、全体の形は大木への成長を夢みる双葉、大輪となる蕾をイメージしました。

当時の春日部市立病院副院長兼 外科部長でありました加部吉男先生がデザインしたものです。

交通のご案内



北千住駅～春日部駅 …… 約30分

久喜駅～春日部駅 …… 約13分

大宮駅～八木崎駅 …… 約20分

清水公園駅～春日部駅 …… 約18分

春日部駅西口下車 …… 徒歩10分

八木崎駅下車 …… 徒歩8分

※所要時間は通学時のもので
特急を利用しない計算です

春日部市立看護専門学校

〒344-0061 埼玉県春日部市粕壁6686

TEL.048(763)4311 FAX.048(763)4933

E-mail gaku6686@pluto.plala.or.jp